

「津波ハザードマップ」の活用について

町では、昭和53年に制定された大規模地震対策特別措置法により、東海地震による地震強化地域に指定され、これに基づき計画を進めてきましたが、東日本大震災を境に平成27年からは、東海地震は、南海トラフ大地震に繰り込まれ関連情報として発表されることになりました。

同じ時期に神奈川県から相模湾に影響すると考えられる9つの地震のうち、大きな津波の発生が想定される5つの地震について「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせた図面（津波浸水想定図）が発表されました。この想定では、相模湾西側海溝型地震でM8.7の地震が発生した場合、3分後に真鶴港周辺に16.5mの津波が押し寄せるというものです。この想定は、2000～3000年に1度あるいはそれ以上と発生確率は非常に低いものになっていますが、「想定外をなくす」という考えのもとに町では、この資料に基づき令和2年8月に津波ハザードマップを更新しました。

《津波ハザードマップで次のことを確認してください》

- 自宅の位置を確認してください。
- 自宅周辺の危険状況を確認してください。
- 指定避難所の位置を確認してください。
- 一時避難場所、指定避難所までの避難経路を確認してください。
- 南海トラフ地震では、臨時情報(※)が発令された場合、事前避難を推奨しています。津波の影響が心配な人は、事前に避難する場所(知人や親せきなど)を家族で話し合ってください。



※ 臨時情報…次の2つの場合に気象庁から発表される情報

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

防災訓練について

今年は、感染症拡大防止のため、指定避難所での参集訓練は行いませんが、自治会の防災倉庫や各家庭の非常用の持ち出し品などの確認をお願いいたします。



登録制メールについて

町からの災害時の情報伝達や防犯情報、防災行政無線の放送内容などを、ご希望の電子メールアドレスへ配信するサービスをしています。本サービスをご利用いただくためには、メールマガジンへの登録が必要です。※登録方法が不明な場合などは総務課防災係にお問い合わせください。

真鶴町お知らせメール 登録手順(下記QRコードを読み込んでください。)

PC・スマートフォンの場合



フィーチャーフォン(ガラケー)の場合



※読み取れない場合は、下記アドレスに空メールを送信してください。

t-manazuru@sg-p.jp

☐問い合わせ 総務課 ☎内線314